

2008. 12. 12 電磁界情報センター（開所記念）シンポジウム

公開について了承頂いた方々の主なご意見について

2008 年 12 月 12 日（金）国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホールにて、電磁界情報センター（開所記念）シンポジウムを開催致しました。当日は 178 名の方にご参加頂き、アンケートにご記入頂きました。

ご回答頂きましたアンケートの結果につきまして、公開について了承頂いた方々の主なご意見をご紹介します。

○内容について次のことが理解できなかった。

- 電磁界情報センター（以下、センター）の構成メンバーに市民団体が含まれていない部分やセンターの中立性については説明になっていない。
- 疫学調査結果のグラフの見方、対照群の数があまりにも少ない理由。
- リスクコミュニケーション。

○内容の次の事が不満であった。

（シンポジウムの運営に関するご意見）

- 総合討論の時間が短い。
- 先生方の重複資料が多かった。
- スライドを説明するだけなら、映像化してもいいのでは。
- パネラーの方の話が長い。センターの人の話も長く、知りたい情報が得られなかった。話が長すぎて情報が少ない。
- 各分野の専門家の話をより多く聞きたいので、今後シリーズ化したシンポジウムの開催をお願いしたい。

（シンポジウムの内容に関するご意見）

- 法規制の現状に関する具体的な内容が欲しかった。
- センターの中立性についての説明は不十分。
- 初回だから仕方がないかもしれないが、センターの方向性の話が多すぎた。
- 磁界についてのテーマが不足していた。

○センターのシンポジウムなどで扱って欲しい課題、講演会の進め方、感想など。

（センターへの要望）

- データベースの整備を早く実施して欲しい。
- 電磁界に関する危険性の情報についても公開して欲しい。
- 意見交換会についてホームページ上で募集して欲しい。

(関係機関との連携)

- 生活者の視点で見たリスク全般（食、感染症、公害など）についても情報収集し、その中で電磁界のリスク認識を位置づけるやり方を他機関と連携しながらおこなって欲しい。
- 地方でのコミュニケーション的な活動を他機関と連携しながら行って欲しい。
- 素晴らしいセンター名称なので、低周波のみならず高周波および光まで情報発信をして頂きたい（経済産業省、総務省、環境省、文部科学省等の情報の整理と WHO、ICNIRP への取り組みなど）。
- 事業者、一般の方々だけでなく、行政、研究者に対する取組み（リスクコミュニケーションの啓蒙、動向提供）も検討して欲しい。

(センターへの期待・センターに対する感想)

- どの程度中立性を保てるか、客観性を期待している。
- 中立性についてセンターの熱意が伝わってきた。全ての利害関係者にとって有意義となることを期待する。
- センターの低周波と高周波の取り組みの違いや高周波への今後の取り組み計画。
- 測定要望に対するセンターの対応予定。

(今回のシンポジウムの情報提供に関するご意見)

- 総合討論の内容をまとめて公開して欲しい。
- シンポジウムの継続的な実施やシンポジウムに参加できなかった人へのホームページでのわかりやすい論点のまとめ、今後の課題の情報提供。
- 貴重なシンポジウムなので議事録や講演資料が見やすいように（たとえばホームページ上でも閲覧できるように）すればよいのではないか。

(今回のシンポジウムに関する感想)

- わかりやすい説明で、電磁界の諸問題を知ることができた。
- 情報の取り扱いについて、技術的能力以上にコミュニケーション能力の必要があるということがわかった。この能力は今まで以上に重要になると思われる。
- いろいろな立場の方が発言していてよかったと思う。
- 今回が初めということで、やはりこのように開かれた形（発言を自由にさせる）がよい。今後も見守っていきたい、参加したいと思う。

(今後、シンポジウムなどで扱って欲しい課題～事業者・市民との意見交換)

- 様々な利害関係者の意見が聴ける講演会の開催が望まれる。
- 実際の紛争化している事例の当事者を双方呼んで発表させ解決の糸口を見つけるような取り組みがあると有意義か(紛争解決機関ではないけれど)。
- 市民からのニーズのすくいあげ、事業者の事情説明について。
- 海外での判例や、鉄塔撤去などの事例紹介を取り扱って欲しい。特に鉄塔撤去などになった経緯や、その費用負担などの事実関係について。
- 技術的な根拠を理解しない方への説明方法。

(今後、シンポジウムなどで扱って欲しい課題～磁界規制動向)

- 世界の電磁界規制について。
- 北欧各国での電磁界規制の紹介と日本や米国との差について。

(今後、シンポジウムなどで扱って欲しい課題～電磁界全般)

- 関連する学会等との意見交換をしてみてもどうか。
- 家電を中心とした電磁波に関する内容 (IH, 電子レンジ他)。
- 地上波デジタルテレビ放送と従来のアナログテレビ放送との電界、磁界強度の差について。
- 電磁波と健康について。誰も検証していない論文の話ではなく、検証されている発表論文が少ない。

(今後のシンポジウムなどの運営に関するご意見)

- プレゼンテーション技術の徹底的な訓練を行い、正しい情報を攻めの姿勢で伝えることが必要。前提となる知識の差を埋めるアプローチ重視。
- ネット上でテーマ別の討論を実施してはどうか。例えば、K I K U L O G のような場。議論の前提が有害であることにならないよう留意されたい。きちんとしたリスク評価に基づくことが重要。
- 電界と磁界をハッキリ区別していただきたい。磁界はこれから非常に重要なテーマになると思われる。電界は電圧の高低、磁界は電流の高低とハッキリ区別して議論いただきたい。

(電磁波に関するご意見全般)

- 携帯電話の子供の使用に対する勧告など欧州では行っている国も多いが、日本においても「安全」とはせずには何かの勧告や掲示が必要ではないか。

みなさまから頂きました貴重なご意見につきましては、今後の電磁界情報センターの運営に役立てて参りたいと思います。

ありがとうございました。

以 上